

## 第2回御殿場市地域医療体制懇話会概要

日 時 平成22年5月11日（火）午後7時30分～午後9時00分

会 場 市民交流センターふじざくら 第1・2会議室

### 講 話

「メディカルスクールと医療再生」について、フジ虎の門病院土田院長から講話がある。

### 意見交換

事務局から資料の説明の後、意見交換を行う。

### 出席者Aさん

昨年、市から老人会に現在3千円の敬老祝金を2千円に減らしてほしいという話があった。その際に減額の条件として、その分を肺炎球菌の予防接種へまわしてほしいという話をしたが、その後、どのようになったのか。

### 事務局

6月補正で予算の対応し、医師会の協力で実施をする。

### 出席者Bさん

この前の医師会の理事会に新たな医療マップの話があったが、マップはインターネットでも見ることができるし、診療科目が載っていても実際にやっていないものもある。目的をはっきりしてマップを作成してほしい。発行する前には原案を医師会にかけてほしい。

### 出席者Cさん

アレルギーを持っている子どもが発症した時に吸入器がある所を知りたい。子どもが苦しむのは時間外が多い。どこへ相談したらよいかわからない。

また、新型インフルエンザの予防接種に行ったが、ここにはワクチンが無い、他所についてはわからないとのことだった。どこへいったらワクチンがあるのかという情報がわからない。

どこへ行けば情報を得ることができるのか。

### 出席者Bさん

吸入器についてだが、夜間は救急医療センターで対応できる。御殿場市において時間外は、まず救急医療センターへ行くことが基本である。一次救急は救急医療センターが基本であり、二次救急はそこから他へ搬送する。

インフルエンザの予防接種については、今回の場合、厚生労働省が良くない。接種をしたい時にさせてくれないし、国が接種しても良いという時には、もう接種する人がいなかった。どこの病院でもワクチンの在庫を抱えた。

季節性インフルエンザの予防接種に関しては、毎年、かかりつけ医に予約をして行ってもらうのが一番良い。病院では実績を報告し、翌年は実績を基本にワクチンがくるようになっている。

ワクチンの在庫は医師会が調査をして把握をしているので、医師会に聞けばわかる。

今回については、季節性のワクチンの生産ラインの20～25%が新型にまわってしまった。

出席者Cさん

必要な人に必要なことが伝わるように行政でしっかり啓もうしてほしい。

事務局

関係部署では問い合わせ等には積極的に対応しているはずである。

その他

次回開催日については、決まりしだい開催の通知をします。

以上